

平成 25 年度歴史講座「藩政時代の青森町を歩く」を開催しました

～藩政時代の青森町を歩く～

「青森」誕生の歴史を中心とする藩政時代の青森町のようすを、実際にまちを歩きながら紹介する歴史講座を、青森市男女共同参画プラザ「カダール」と共同で開催しました。

青森市には藩政時代の風景は、まったく残っておらず、この時代の青森をイメージすることは難しいことと思われていますが、実は、当時の青森町の街区は、現在でもほぼそのまま遺っています。つまり、藩政時代の町割りの上に現在の建物が建ち、私たちは当時の人々とほぼ同じ道を日々歩いているのです。

『新青森市史』資料編近世（全3巻）では、藩政時代の青森町の絵図を、付図として3点収録しています。これらに描かれているもののうち、常光寺・正覚寺・蓮心寺・蓮華寺のいわゆる四か寺、それから現在の県庁の位置にあった御飯屋は、藩政時代のランドマークです。

講座では、藩政時代の青森町について説明を聞いたあと、絵図を持って実際に安方・新町周辺を歩いてみました。

開催日時及び場所

2013年5月26日（日曜日）10時00分～12時30分

10時00分～11時00分…座講（アウガ5階 男女共同参画プラザ「カダール」研修室）

11時00分～12時30分…まち歩き（安方・新町周辺）

講師

市史編さん室事務長 工藤 大輔

参加者

15名

講座のようす



まち歩きの前にカダールにて講座を行いました



絵図に描かれた水路を探しながら歩きました



町奉行屋敷や青森御蔵のあった場所
(『新青森市史』通史編第2巻 309～315 ページ)



善知鳥神社境内にある芭蕉の句碑
(『新青森市史』通史編第2巻 485～486 ページ)

町歩きマップ

今回歩いたコースを気軽に歩いていただけるよう、マップを作成しました。ぜひこの町歩きマップを片手に町歩きを楽しんでください。



- ①善知鳥宮から西へ伸びる水路・駅付近に御蔵新築
(ルートインホテル、ホテル東横インの間の道)
『通史2』P.310、637-639
- ②水路の合流地点
(ホテルサンルート角)
『通史2』P.637-639
- ③わずかに残る水路の痕跡
(栄作堂本店横)
『通史2』P.637-639
- ④与力番所・御目付番所
(県庁北棟、県警本部付近)
『通史2』P.460-464、500
- ⑤安定寺
『通史2』P.460-464、500
- ⑥町奉行屋敷・青森御蔵
(県庁第2駐車場付近)
『通史2』P.309-315

- ⑦青森御飯屋
(御飯屋跡の碑は青森県庁の正面より向かって右手、
長島地下駐車場入口の向かい側あたりにあります。)
『資料近世(2)』P.673-676・『通史2』P.2、628-630
- ⑧善知鳥山龍泉寺
(村上新町病院裏)
『通史2』口絵
- ⑨一念寺
『通史2』P.701-702
- ⑩安方湊番所
(アスパムそばのガソリンスタンド付近)
『通史2』口絵
- ⑪鉤型の交差点
(パーキング善知鳥近く)
『通史2』P.639
- ⑫制札場・町奉行所・善知鳥神社・芭蕉の句碑・新町の市神など
『通史2』P.485-486、562-564、630-634、702

注 『資料近世(2)』=『新青森市史』資料編4近世(2)
『通史2』=『新青森市史』通史編第2巻近世

歴史講座 ～藩政時代の青森町を歩く～ 町歩きマップ

アウガ



アスパム

ルートイン
①?
東横イン